



悩みや不安の解決を支援する取組 (SNSを活用した相談事業)

本市では「いじめは絶対に許さない!」という強い信念のもと、積極的に児童生徒の悩みや不安の声に耳を傾けるため、市内全小中学校で年3回以上、実態把握調査を実施するとともに、教育相談を活用して実態の把握に努めております。また、いじめ未然防止教育やSOSの出し方教育、中学校合同生徒会による「OMOIAI運動」に取り組み、全市でいじめの未然防止、意識の高揚等を図っております。

いじめの主な要因として、不満やストレス、人間関係スキルの不足、家庭環境等が挙げられ、いつでも、どこでも、誰にでも起こり得るものです。いじめを未然に防止するためには、児童生徒が抱える悩みや不安に寄り添い、解決に向けて一緒に歩いていくことが重要です。しかし、その悩みや不安を「面と向かっては話しづらい」、「どう相談したらよいか」・・・と悩んでしまい、なかなか発信できずにいる実態もあります。

そこで、本市では発達段階に応じて中学生期より、いつでも、どこでも、SNSで相談できる事業(運用アプリ:STANDBY)を行っております。相談内容としては、いじめや人間関係の悩み、家族の悩みや勉強方法の悩みなど、多岐に渡りますが、相談員が一人一人の悩みに寄り添いながら、丁寧に支援しております。内容によっては、学校への相談を促し、学校が迅速な対応ができるよう、取り組んでおります。



STANDBY説明動画

<相談実績>

	相談件数	総相談回数
令和6年度	90件	319回
令和7年度(8月末時点)	34件	135回

活用型情報モラル教材「GIGAワークブックきみつ2025」を作成

本市では、一般財団法人 LINE みらい財団と連携し、GIGA スクール構想に基づき、児童生徒の「情報モラル」や「情報活用能力」の育成・向上を目的とした教材『活用型情報モラル教材「GIGA ワークブックきみつ 2025」』を作成しました。この教材では、インターネットの特性や適切なコミュニケーション方法、情報のリスクなどを学ぶ「情報モラル教育」に加え、ICTを活用して情報社会に参画し、社会に働きかける力を養う「情報活用」について学習することができます。

令和7年8月6日には、教職員を対象とした活用研修会を実施し、教材の効果的な活用方法について理解を深めました。

「GIGA ワークブックきみつ2025」は、君津市教育センターのホームページおよび Google ドライブ(市内教職員共有)に保存されています。ぜひご活用ください。



教育センターHP



GIGA ワークブックきみつ2025

君津市教育センター研修会

きみつつ子サポーター研修会

6月12日(木)

「支援を必要とする子どもへの理解と対応」のテーマのもと、千葉県総合教育センター特別支援教育部 稲村由則研究指導主事、南房総教育事務所 吉元やすよ指導主事、君津特別支援学校 正木真弓教諭・佐々木郁子様、本市特別支援アドバイザー 小林哲子、本市スクールソーシャルワーカー 佐藤光英計6名を講師にお招きし、グループ協議を行いました。日々児童生徒に対して感じている悩みを各グループで話し合い、支援方法について活発な意見が交わされました。講師の先生方からは普段の教育実践に役立つ視点や支援方法について丁寧にご助言をいただきました。参加者から、「的確なご指導をいただきました。」「明日からの支援にいかしていきたい。」などの感想が多く寄せられました。



夏のつながる山・川・海研修会

7月30日(水)

海洋教育を中心に山・川・海をつながり学ぶことを目的とし、2名の講師をお招きし、研修を行いました。1人目の講師、海苔漁師でノリネットクラブ代表の石川金衛さんからは、東京湾の海苔養殖の現状と環境の変化についてのお話を伺い、海苔の食べ比べや、アサリの味噌汁の試食をさせていただきました。2人目の講師、廃材アーティストのしばたみなみさんからは、ゴミと呼ばれる漂着物を作品に生まれ変わらせる活動についてのお話を伺い、その後各家庭で使わなくなったものを持ち寄り、漂着物と合わせて個性豊かな素敵な作品を作るワークショップを行いました。最後は「きみペディア活用アイデア検討会」として、昨年度完成した本をどのように活用するとよいかを学び合いました。



道徳研修会

8月1日(金)

「道徳教育の実際 よりよく生きるための道徳」のテーマのもと、南房総教育事務所指導室 榎並谷恵指導主事を講師にお迎えし、研修を行いました。

実際の道徳の授業で大切なことは、ねらいの明確化であることや学習指導展開である導入・展開・終了でのそれぞれのポイントを分かりやすく解説してくださいました。また、これまでの実践経験から具体的な指導方法の工夫、話し合い方の工夫を紹介していただきました。答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合うような授業作りについて参加者とともに話し合いました。

受講後の参加者からの感想では、道徳の授業作りの基本が理解できた、早速2学期から実践したいなどの声が寄せられました。



ICT活用研修会

8月8日(金)

授業におけるICTの効果的な活用を目的に、3つの研修内容を行いました。「オクリンクプラス」の活用研修では、基本操作や授業での活用場面などについて学びました。プログラミングロボット

「Root」の研修では、参加者一人一人がプログラムを打ち込み、Rootの操作を行いました。情報モラル教材「GIGAワークブックきみつ」は、教材の概要や活用の仕方を模擬授業形式で体験しました。参加者から「授業での活用場面がわかった」「意外と操作が簡単で驚いた」「ICTの活用で学習活動が広がる」など多くの前向きな感想が寄せられました。

3つの研修内容を通じて、教職員のICT活用能力の向上と授業改善への意欲が高まり、今後の教育活動の充実に繋がる有意義な機会となりました。



イングリッシュ・デイ・キャンプ

～EXPO KIMITSU 2025 君津ばんぱく～

本市では、市独自の英語教育施策として、毎年イングリッシュ・デイ・キャンプを実施し、英語を使ったコミュニケーション能力の向上に重点を置いた活動を行っています。

今年は、上総地域交流センターを会場に、「EXPO KIMITSU 2025 君津ばんぱく」をテーマに開催しました。市内小学校5、6年生38名がALT16名とともに参加しました。

色々な学校から集まった友達とグループを作り、自分たちの旗を作成するところからスタートしました。オープニングセレモニーでは、大阪・関西万博とオンラインでつなぎ、マラウイの国や現地のパビリオンを紹介してもらったスペシャルイベントも実施しました。そして、初めて出会った新しい仲間と協力しながら、4つの部屋を回っていきました。子ども達は、各部屋で、好きな食べ物を聞きながら的当てをしたり、アイテムを数えながらクリーン活動ゲームをしたり、友達に指示を出して道案内をしたりするなどALTの工夫を凝らしたアクティビティを楽しんでいました。クロージングセレモニーでは、参加者全員が1つの輪になってダンスを踊り、大変盛り上がりました。最後は、グループごとに集まり、ALTからイングリッシュ・デイ・キャンプの修了書が手渡されました。教室を離れ、一日中生きた英語に触れながら、自分の英語が相手に伝わる喜びを実感し、出会った新しい仲間と笑顔で過ごすことができました。



第53回 科学工夫工作・研究論文・プログラミング作品展

9月6(土)～8日(月)の3日間で作品展を開催しました。科学工夫工作48点、研究論文83点、プログラミング61点が出品されました。

君津市独自の取り組みである、「君津市」と「SDGs」をテーマとするプログラミング作品については、電子黒板やタブレットで実際に体験できるコーナーを設けました。

開催期間の3日間で、569名の方にご来場いただき、大変好評なものとなりました。

なお、その後の千葉県の審査会には工作2点、論文2点が出品されております。



君津市教育センターHPにて
入賞作品公開中！⇒



第16期君津市中学校合同生徒会全体協議会

令和7年8月19日（火）開催！

☆第16期共通取組☆

「OMOIAI運動」

「SDGs活動」

平成21年に発足した中学校合同生徒会も第16期を迎え、生涯学習交流センターで実践報告及び意見交換会を行いました。活発な意見交換が行われ、君津市の中学生一人一人が意識を高く持って取り組んでいけるような活動をしていこうと熱い思いを共有していました。



～OMOIAI運動～

- ・ いじめ撲滅の意識を強く持って取り組んでいく
- ・ 思いやりの意識を高める
- ・ あいさつ運動の目的を再確認し、質を向上させる
- ・ お互いを認め合い、高め合うことを再確認する
- ・ プラスな雰囲気づくりをする

学校全体で連帯感を持って、
進んで取り組んでいこう

～SDGs活動～

- ・ エコキャップ回収の強化「世界中の子供たちにワクチンを！」
- ・ 使命感を持つ
- ・ 全校生徒が積極的、協力的に行える取組をする
- ・ 地球環境を考える

自分事として意識し、
使命感を持って
取り組んでいこう

全体協議会閉会式の感想発表では、「参加・共同・連帯を感じることができた」、「充実した会となった」、「同じ気持ちを共有できてうれしい」など生徒たちの幸福感を感じることができました。

合同生徒会長は、「有意義な会となりうれしかった」ことや、「合同生徒会の効果で、君津市をより良くしていきましょう」と決意を述べ、閉会しました。

教育センター所員を紹介します

令和7年度の教育センター職員です。新たに3名の所員を加え、18名の所員で君津市の児童生徒及び先生方のお力になれるよう、精一杯務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

所長	武次 謙治郎	主査	大森 理絵	非常勤	佐々木啓輔
副所長	岡本 誠士	主査	及川 佑一	特支AD	小林 哲子
主査	根本 梨絵	主査	伊藤 良平	ICT 支援員	山下 正二郎
主査	田仲 永和	副主査	森田 和也		
主査	山元 佳織	主任主事	鎌田 康暉	CALT	ケネス・エラルド・デスピ
主査	尾形 和信	主事	鈴木 智也		
主査	山口 基樹	SSW	佐藤 光英		



SSW : スクール・ソーシャル・ワーカー

CALT : コーディネーターALT

特支AD : 特別支援アドバイザー